



# 県庁通り 歩いて楽しい道路空間 創出事業

令和3年3月4日(木)  
「第3回マチミチ会議」

岡山市都市整備局都市・交通部  
庭園都市推進課街なかにぎわい推進室

技師 舌崎 博勝

[hironori\\_shitasaki@city.okayama.lg.jp](mailto:hironori_shitasaki@city.okayama.lg.jp)

## 車中心から人優先の道路空間へ再構築しています。

- ・ 2車線一方通行 → 1車線化
- ・ 歩道拡幅、自転車レーン設置、木陰のできる植栽、ベンチ、連続照明

## 道路空間を活用する仕組みを構築しています。

- ・ 活用できる道路(歩道)空間を明確に整備
- ・ 沿道事業者等と協力し、仕組みやルール作り

## 行政主導からはじまり、官民連携のまちづくりへ。

- ・ 沿道事業者等の巻き込み

# ① 岡山市の紹介

# ① 岡山市の紹介

**人口: 720, 385人** (令和2年4月1日現在)

**面積: 789.95km<sup>2</sup>**



# ① 岡山市の紹介

## ◆ 恵まれた自然環境

- ・温暖な瀬戸内海特有の風土
- ・春秋は快晴の日が多く、冬は積雪を見ることはまれ

## ◆ 充実した交通網

鉄道・道路・空路などの交通網が集中する中枢拠点都市

### 【晴れの国おかやま】

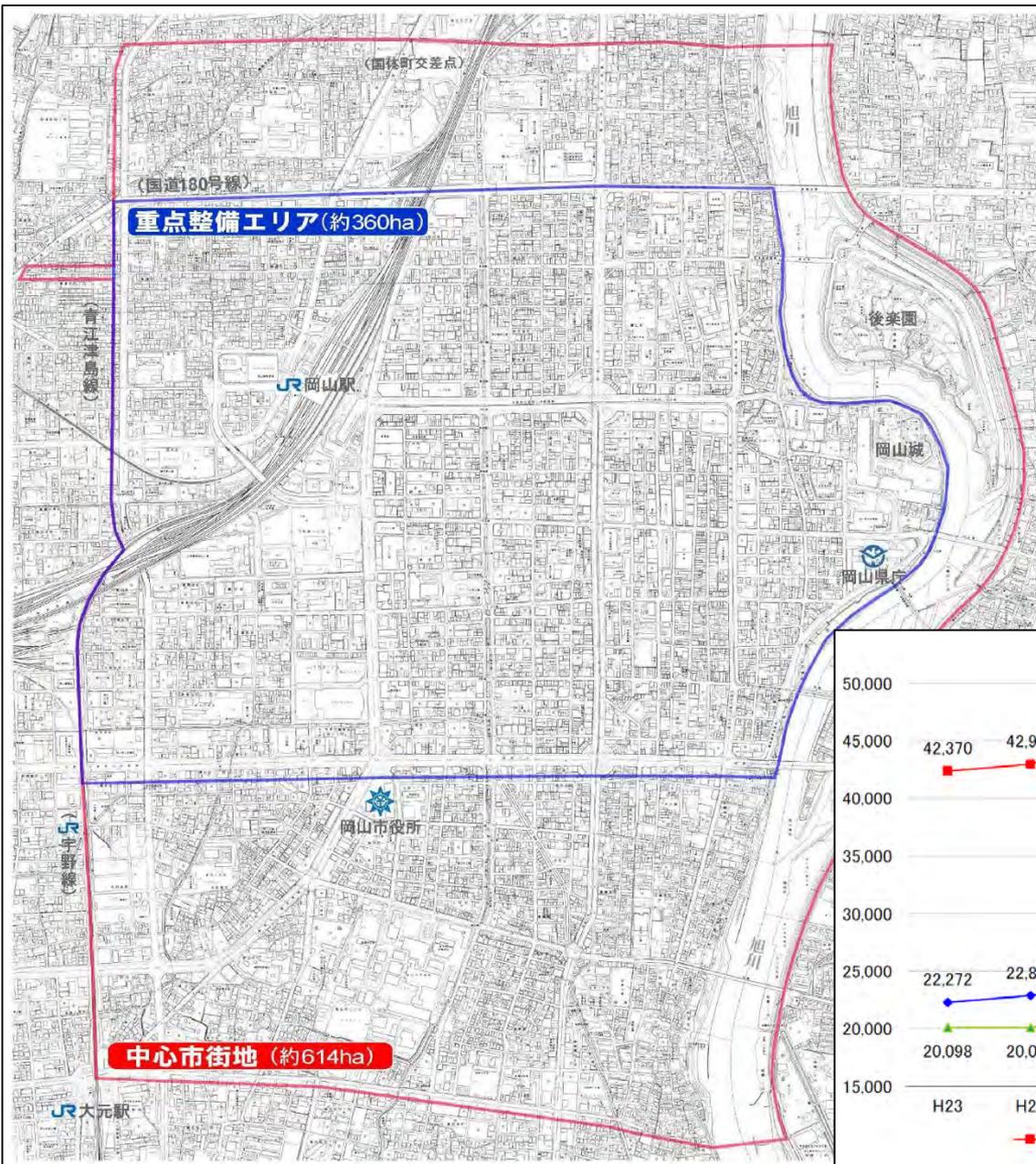
年間日照時間の平均値(1981 - 2010年の平均)



▲気象庁HPより



# ① 岡山市の紹介

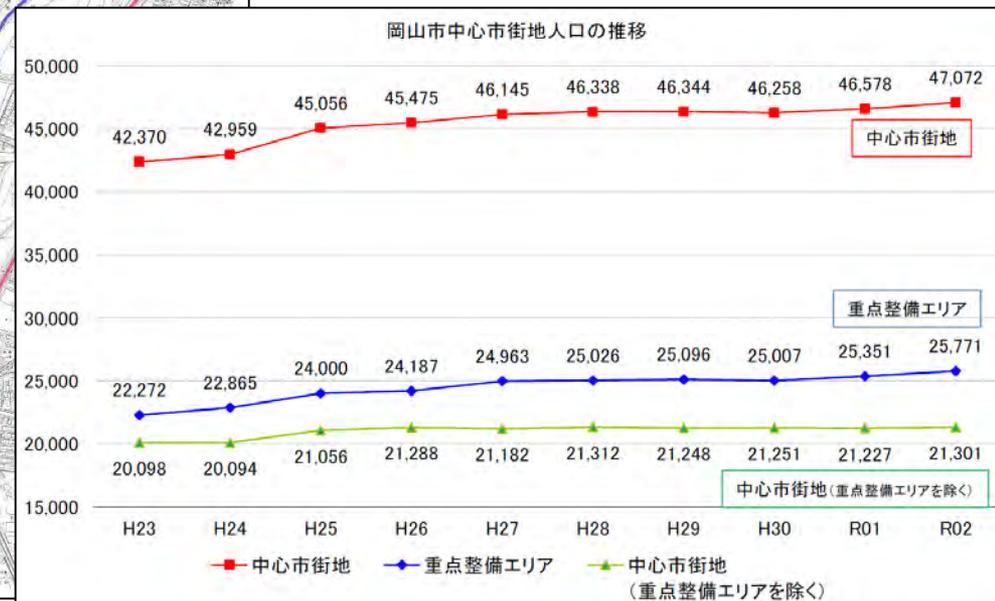


中心市街地(重点整備エリア)

人口: 25,771人(令和2年)

※毎年、微増

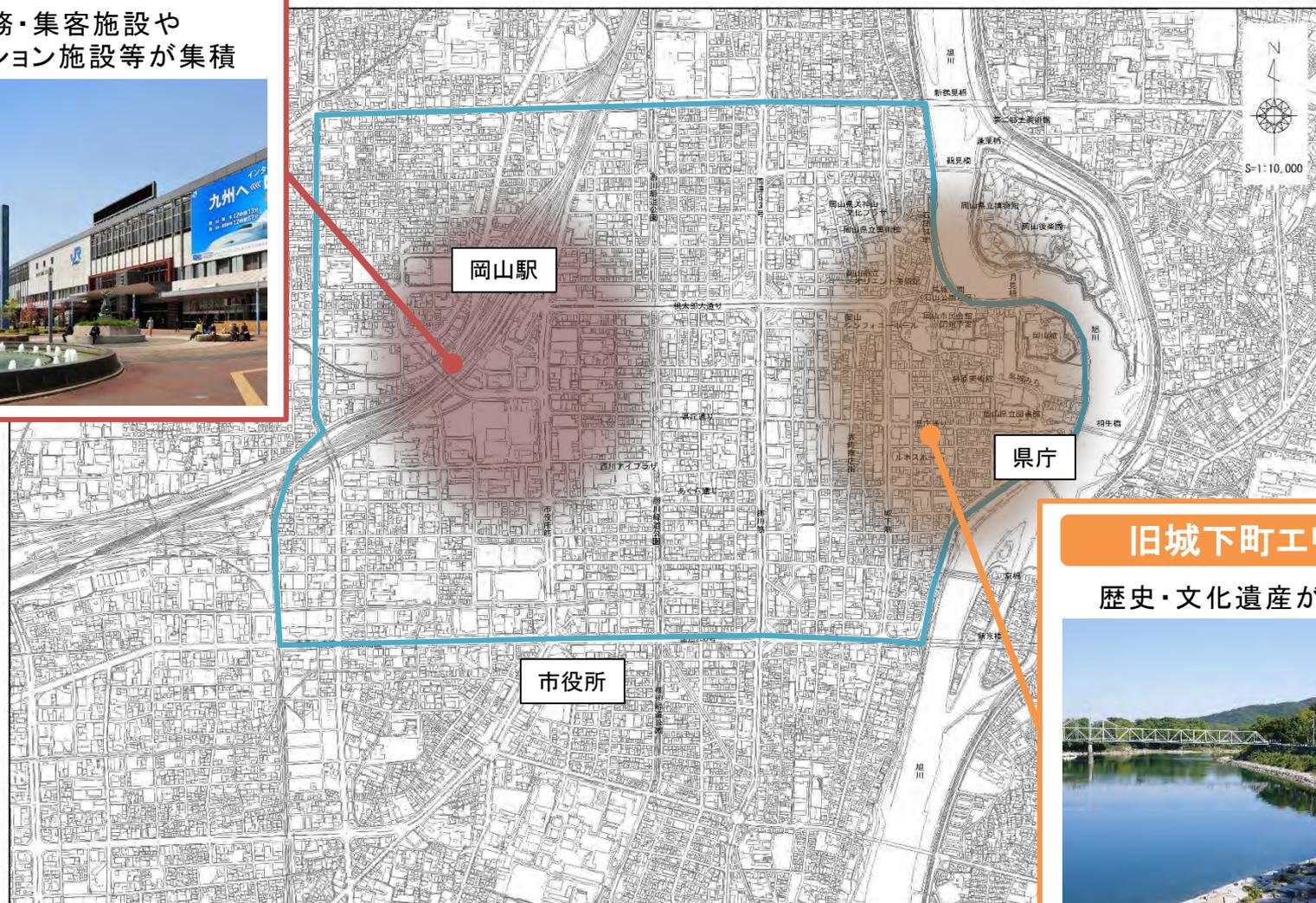
面積: 約360ha



# ① 岡山市の紹介

## JR岡山駅周辺エリア

商業・業務・集客施設や  
コンベンション施設等が集積



## 旧城下町エリア

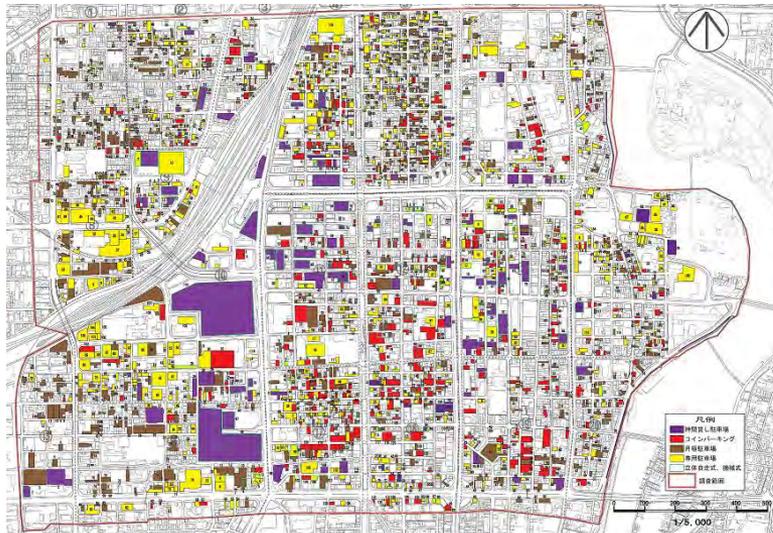
歴史・文化遺産が集積



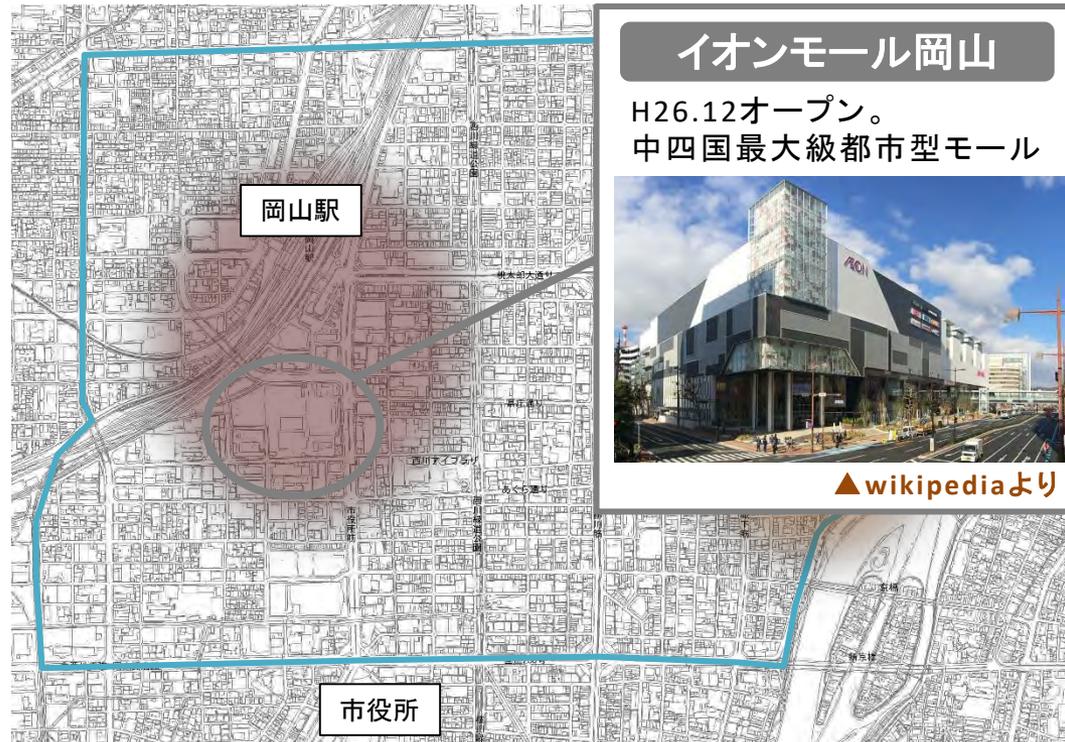
2つの賑わいの核で形成されている。

# ① 岡山市の紹介

- ・低密な市街地が郊外で拡大→中心部を歩く人は30年間で半減
- ・移動手段の60%が自家用車・・・車中心のまち
- ・低未利用地の増加
- ・H26イオンモール岡山開業以降、岡山駅周辺地区が特に賑わう  
→中心市街地全体に賑わいを波及させる方策必要



▲ 中心市街地における駐車場位置図 (H27)



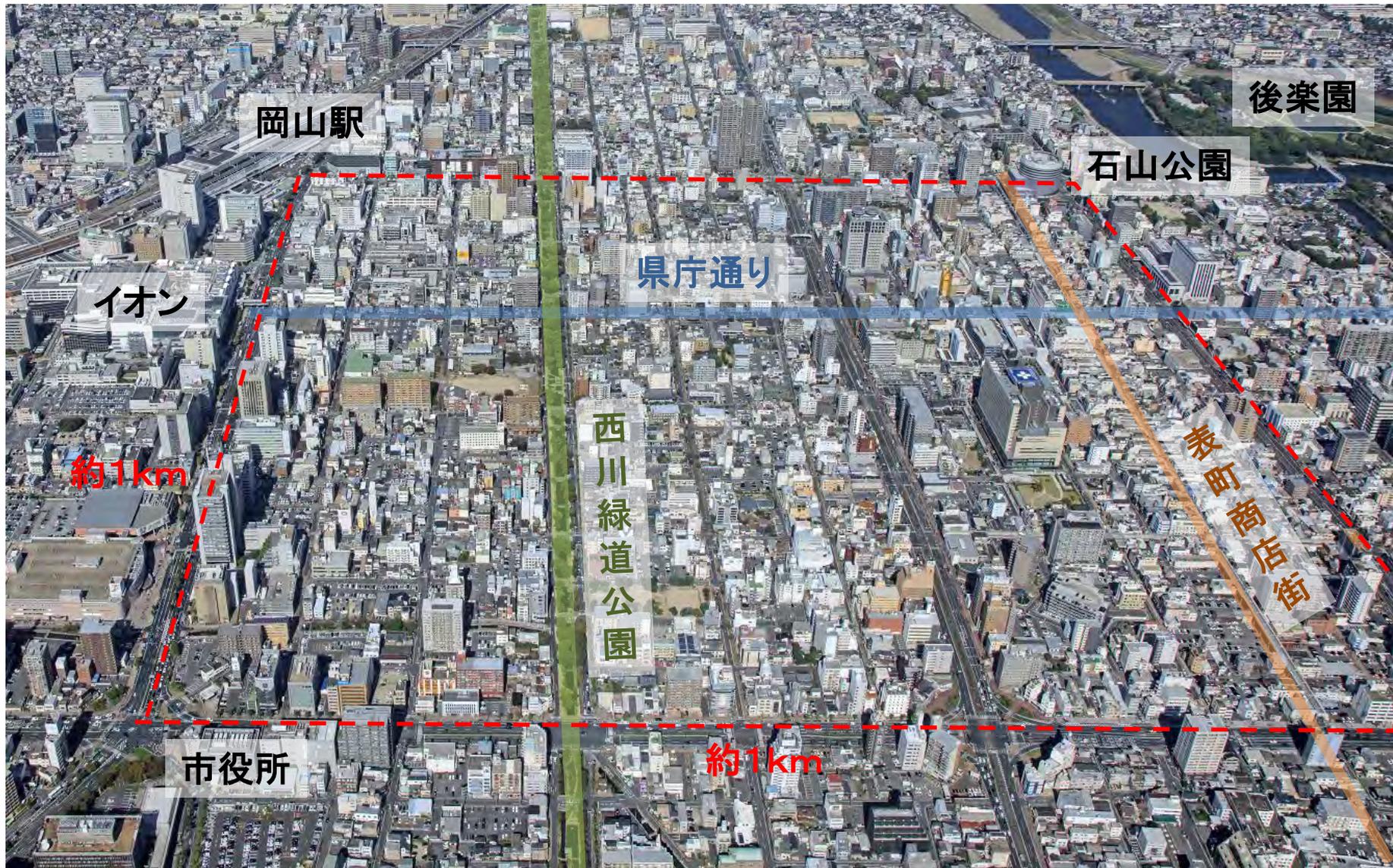
## イオンモール岡山

H26.12オープン。  
中四国最大級都市型モール



▲ wikipediaより

## ② 県庁通りの取組



## ② 県庁通りの取組 – 県庁通りの概要 –

### JR岡山駅周辺エリア

商業・業務・集客施設や  
コンベンション施設等が集積

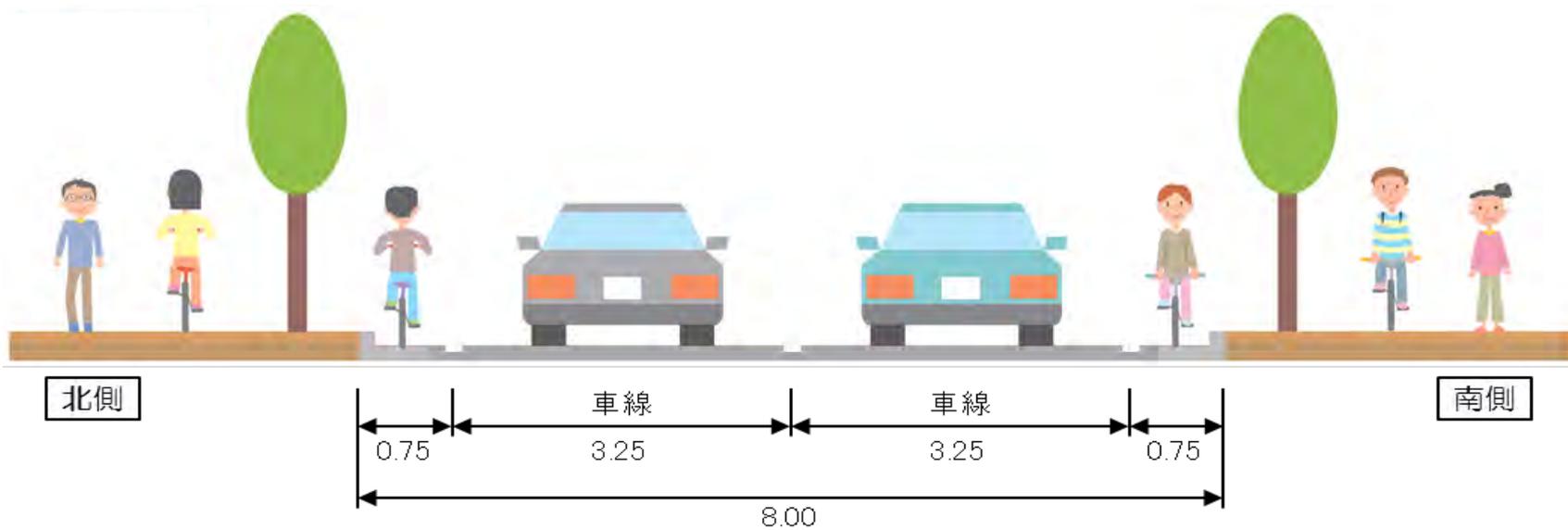
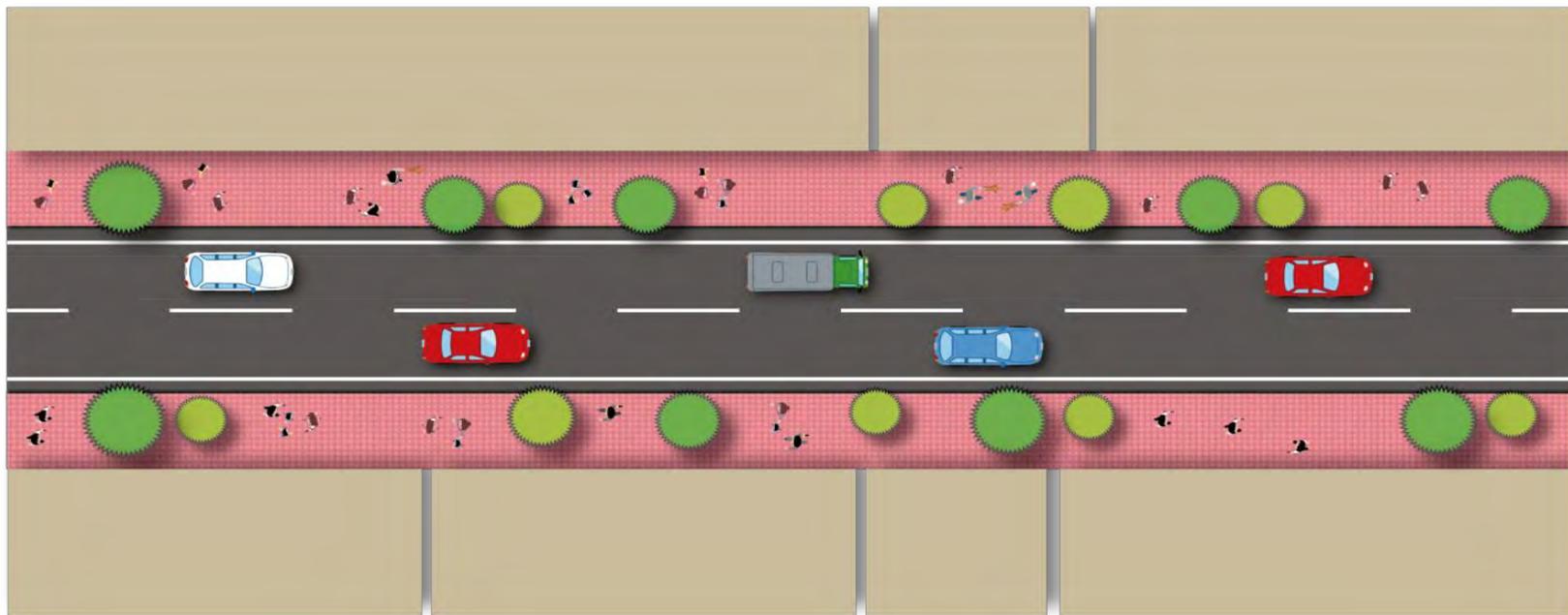


### 旧城下町エリア

歴史・文化遺産が集積



# 各エリアを結ぶ重要なルート



# ヒューマンスケールの魅力を 引き出すポテンシャルをもった 道路空間



# 「車中心」から「人優先」の 安全で快適な「歩いて楽しい」道路空間の創出

## ▶ 道路空間の再構築（ハード施策）

車道を2車線から1車線化し、歩道を拡幅することで快適な歩行空間を創出する。

# 魅力を感じられる空間の創出

## ▶ 官民連携による県庁通りの魅力づくり（ソフト施策）

空き店舗や空き地、低未利用地の有効活用や道路空間の利活用等に向けた検討を行うなど官民連携による都市再生（リノベーション）を進める。

## デザイン方針

### ① 賑わい創出のために“活用”できる空間

沿道事業者によるオープンカフェ、ベンチやプランターの設置。

### ② 県庁通りの都会的なイメージを体現

県庁通りは昔から“情報の発信地”“岡山の最先端”といったイメージ。  
そのイメージを体現する都会的(アーバン)で飽きの来ないスタイリッシュなデザイン。

### ③ 沿道の店舗や活動する人が主役となれるよう 落ち着きがあり、 親しみの持てる空間

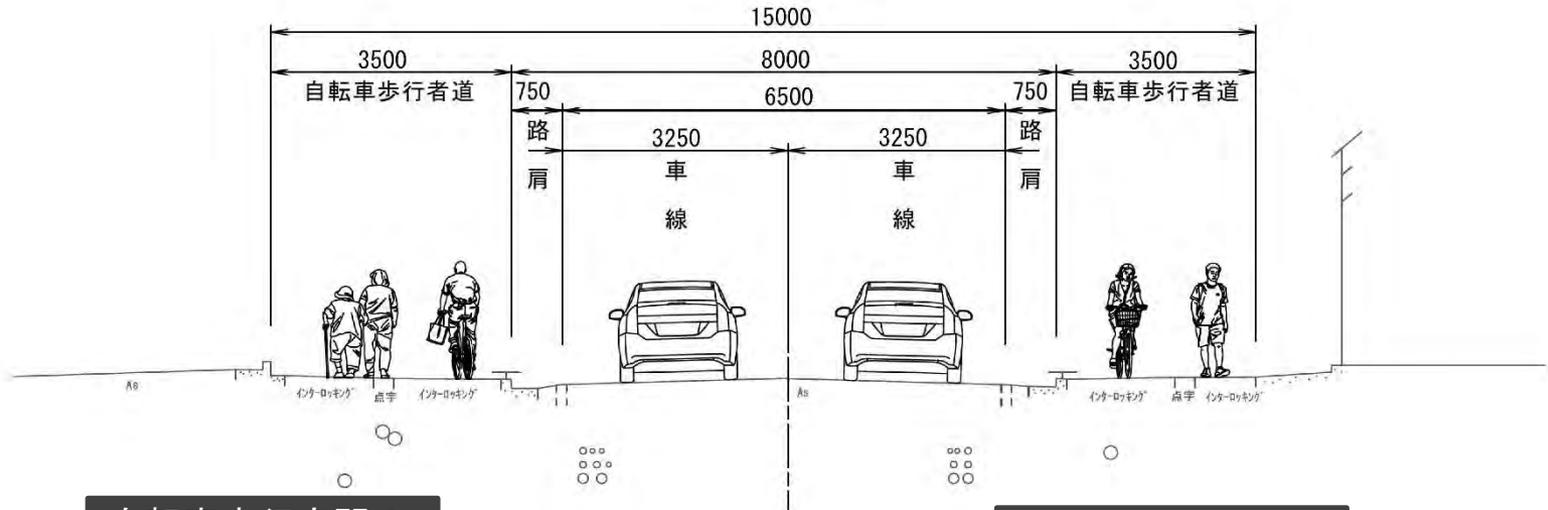
落ち着きのある舗装材の色・パターン、温かみのある照明やアップライトによる夜間の  
良好な景観形成、樹形が美しく季節感のある植栽。

### ④ 安心・安全に活動できる空間

歩行者と自転車の分離、照明による明るさ確保。緊急車両通行のための十分な幅員。

# ② 県庁通りの取組 – 道路空間の再構築 –

現況

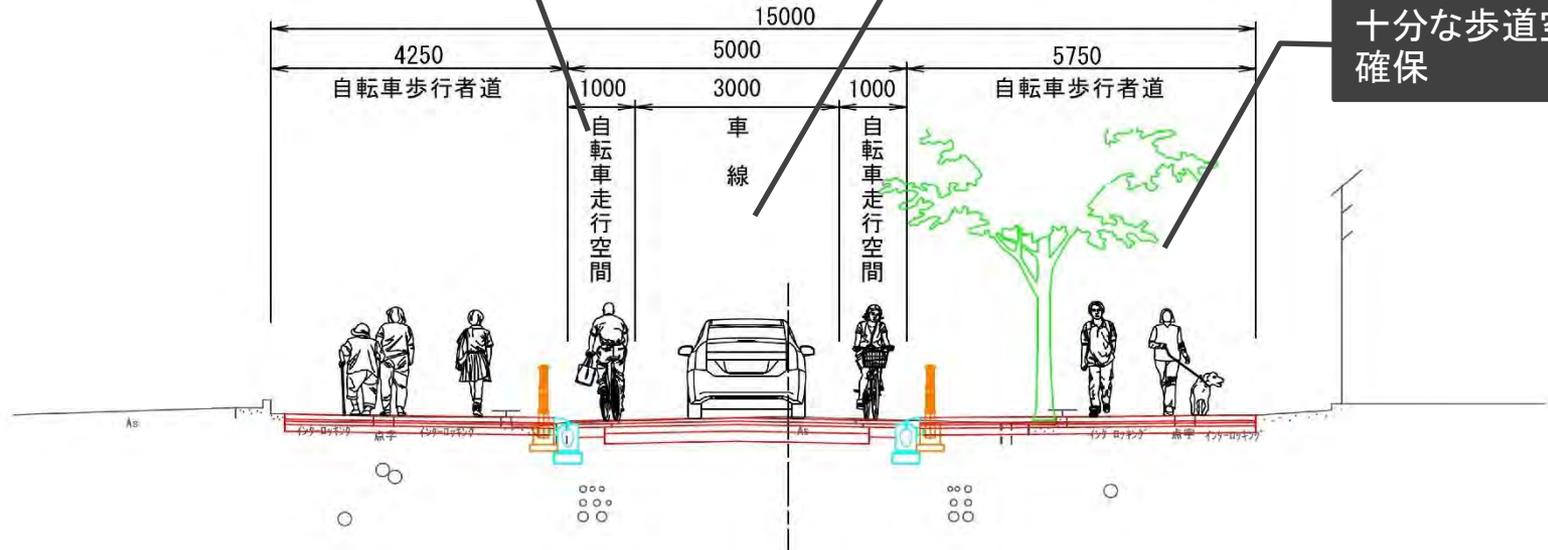


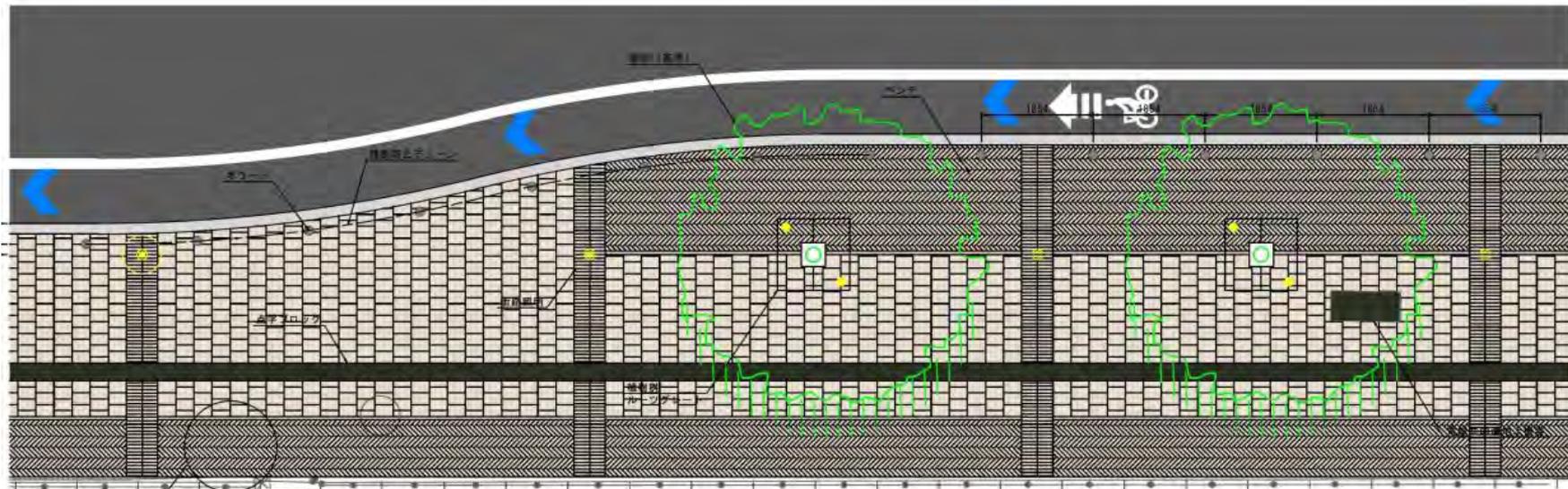
整備後(案)

自転車走行空間の確保

2車線から1車線に

十分な歩道空間を確保





## 人中心の空間 と 緑の空間 の両立

- ・広幅員部にボリュームのある樹木
- ・イスにも机にもなるベンチ
- ・配置・配色の工夫











社会実験

まちづくり連続フォーラム

## 平成27年度

5月3日(日)～4日(月・祝)  
 10月10日(土)～11日(日)  
 11月28日(土)～29日(日)

第1回県庁通り回遊性向上社会実験  
 第2回県庁通り回遊性向上社会実験  
 第3回県庁通り回遊性向上社会実験



## 平成28年度

10月1日(土)～7日(金)

第4回県庁通り回遊性向上社会実験



デザインミーティング

## 平成29年度

7月22日(土) 県庁通りまちづくりセミナーVol.1  
 11月7日(火) 県庁通りまちづくり勉強会  
 11月20日(月) 県庁通りまちづくりワークショップVo.1  
 1月30日(火) 県庁通りまちづくりワークショップVol.2  
 2月17日(土) 県庁通りまちづくりセミナーVol.1



## 平成30年度

5月27日(日) 県庁通りデザインミーティングVol.1  
 7月22日(日) 県庁通りデザインミーティングVol.2  
 11月15日(水) 県庁通りデザインミーティング(会議①)  
 12月19日(水) 県庁通り意見交換会  
 12月21日(金) 県庁通りデザインミーティング(会議②)  
 12月22日(土) 県庁通り意見交換会  
 3月17日(日) 県庁通りデザインミーティングVol.3

## 令和元年度

9月28日(土)～10月2日(水) 1M KENCHO-DORI PROJECT  
 10月15日(火) 県庁通りまちづくりセミナー  
 3月15日(日) まち歩きワークショップ

西工区(市役所筋～西川緑道公園筋)施工開始



## 令和2年度

東工区(西川緑道公園筋～柳川筋)施工開始予定

沿道組織立ち上げ  
 道路空間活用の仕組み・ルール構築

## 社会実験の実施(H27年度～H28年度)

### 実験の概要

- 実験的に車道を1車線化
- 沿道を含めた賑わいづくり（イベント）の実施や歩道上にベンチの設置

➔ 交通量調査やアンケート調査によりその効果を検証



実験前(2車線)



実験中(1車線)

	平成27年度			平成28年度
		5月3日(日) 5月4日(月・祝)	10月10日(土) 10月11日(日)	11月28日(土) 11月29日(日)
規制区間	規制なし	市役所筋~農業会館(505m)		
日数	土日祝日の2日間			平日を含む7日間
規制時間	規制なし	各日11時~17時		終日
規制方法	規制なし	フェンス設置 (北側車道を規制)	サポートラインによる 区画線引き替え	サポートラインによる 区画線引き替え ※自転車の走行帯を 青ラインで明示
自転車走行	他路線へ迂回誘導	車道左側(西進は迂回)	自転車走行レーン	



県庁通り 1車線規制中（自転車レーン利用状況）



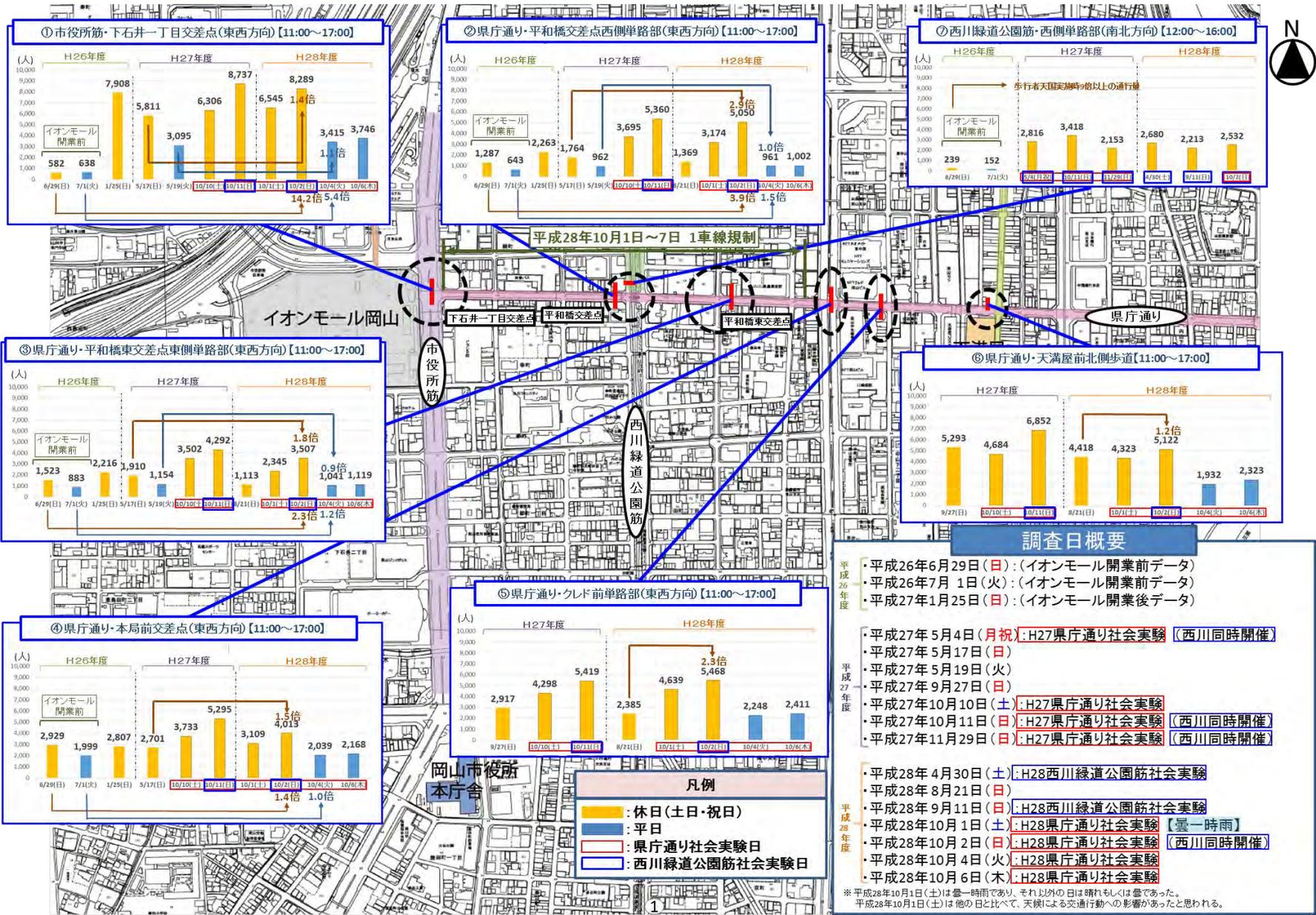
県庁通り 1車線規制中（荷捌き場利用状況）



県庁通りイベント状況



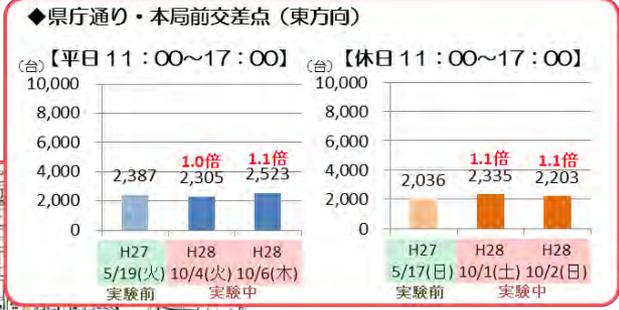
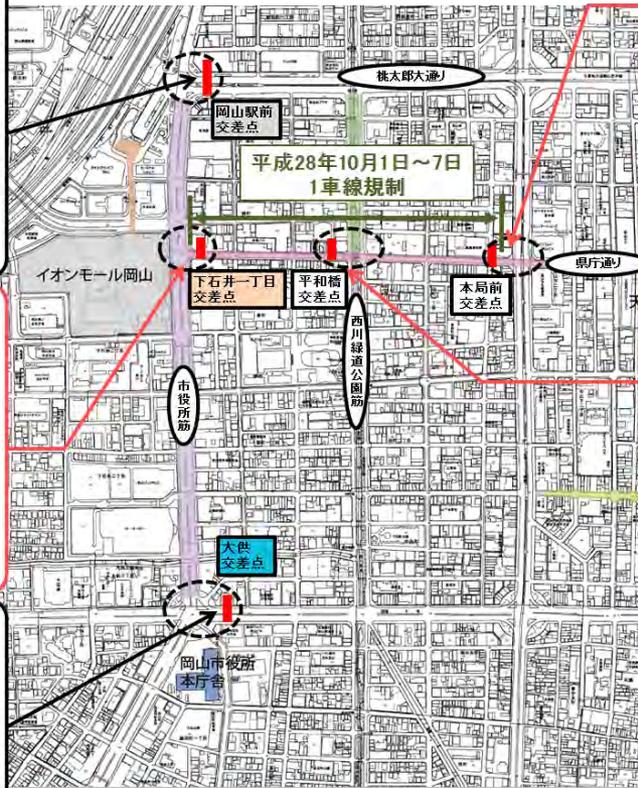
県庁通りイベント状況



## 交通量調査結果

社会実験中に県庁通り及び周辺の幹線道路において自動車交通量を調査しました。過去のデータと比較したものが以下のとおりとなります。  
※詳細の調査結果はWEBサイト(下記URL)に公開しております。  
[http://www.city.okayama.jp/toshi/teien/teien\\_t00023.html](http://www.city.okayama.jp/toshi/teien/teien_t00023.html)

### ▼実験前と実験期間中における交通量の状況



**調査日概要**

**H27年度 実験前**

- 平成27年5月17日(日)
- 平成27年5月19日(火)

**H28年度 実験期間中**

- 平成28年10月1日(土): H28県庁通り社会実験【曇一時雨】
- 平成28年10月2日(日): H28県庁通り社会実験【西川同時開催】
- 平成28年10月4日(火): H28県庁通り社会実験
- 平成28年10月6日(木): H28県庁通り社会実験

※平成28年10月1日(土)は曇一時雨であり、それ以外の日は晴れもしくは曇であった。  
平成28年10月1日(土)は他の日と比べて、天候による交通行動への影響があったと思われる。

## 社会実験の実施結果

○県庁通り及び周辺の幹線道路である桃太郎大通りや県道岡山児島線(旧国道2号)における実験期間中の自動車交通量は、平日・休日ともに大きな変化は見受けられませんでした。

## 渋滞長調査結果

社会実験中及び実験前に市内中心部において渋滞長を調査しました。実験前後のデータと比較したものが以下のおりとなります。※詳細の調査結果はWEBサイト(下記URL)に公開しております。  
[http://www.city.okayama.jp/toshi/teien/teien\\_t00023.html](http://www.city.okayama.jp/toshi/teien/teien_t00023.html)

### ▼実験前と実験期間中における渋滞長の状況

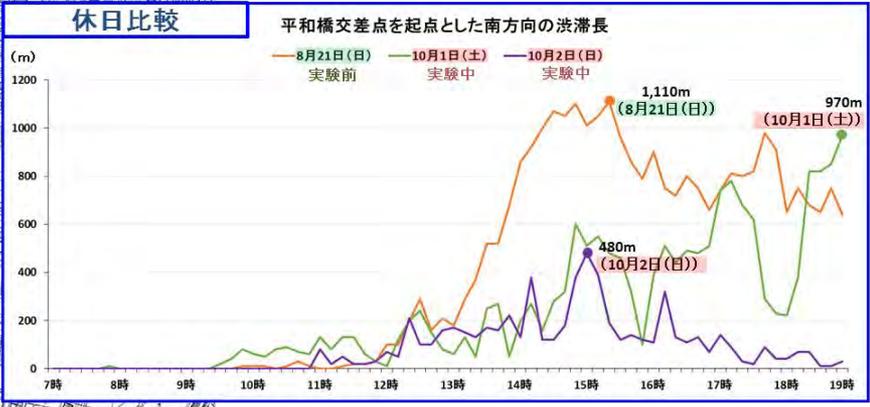
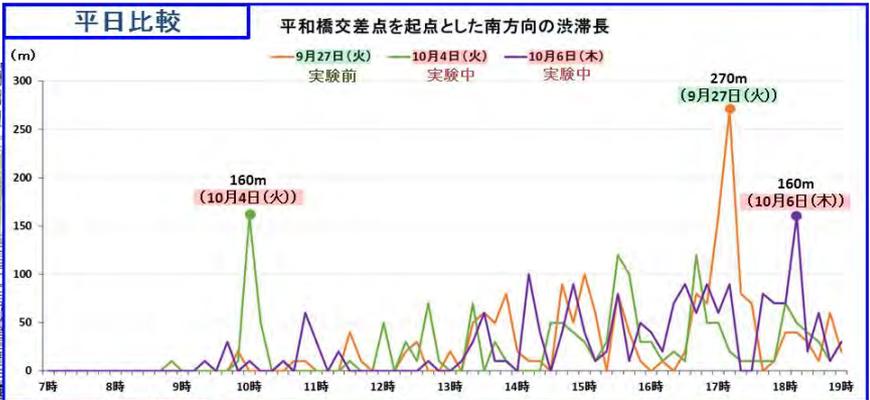
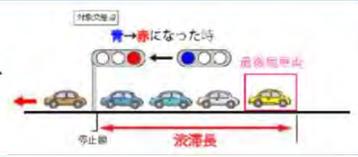


H27第3回県庁通り社会実験時には第3車線(右折レーン)の渋滞が大供交差点まで延びていたが、今回の社会実験時には、第3車線の交通は円滑に流れていた。

- H28年度 実験前**
- 平成28年8月21日(日)
  - 平成28年9月27日(火)
- H28年度 実験期間中**
- 平成28年10月1日(土): H28県庁通り社会実験【曇一時雨】
  - 平成28年10月2日(日): H28県庁通り社会実験【西川同時開催】
  - 平成28年10月4日(火): H28県庁通り社会実験
  - 平成28年10月6日(木): H28県庁通り社会実験
- ※平成28年10月1日(土)は曇一時雨であり、それ以外の日は晴れもしくは曇であった。  
 平成28年10月1日(土)は他の日と比べて、天候による交通行動への影響があったと思われる。

## 渋滞長とは？

1回の信号で交差点を通過できなかった車両の、最後尾までの列の長さ。



## 社会実験の実施結果

- 県庁通りにおいては、平日・休日ともに大きな渋滞は見受けられませんでした。
- 市役所筋においては、社会実験中(1車線規制中)590mの渋滞が見られましたが、第1車線(イオンモール岡山への左折車両)であり、県庁通り1車線化による影響ではありませんでした。
- 西川緑道公園筋においては、社会実験中(1車線規制中)970mの渋滞が見られましたが、社会実験前(通常時)にも1,110mの渋滞が見られ、県庁通り1車線化のみによる影響ではないと考えられます。

## アンケート調査結果

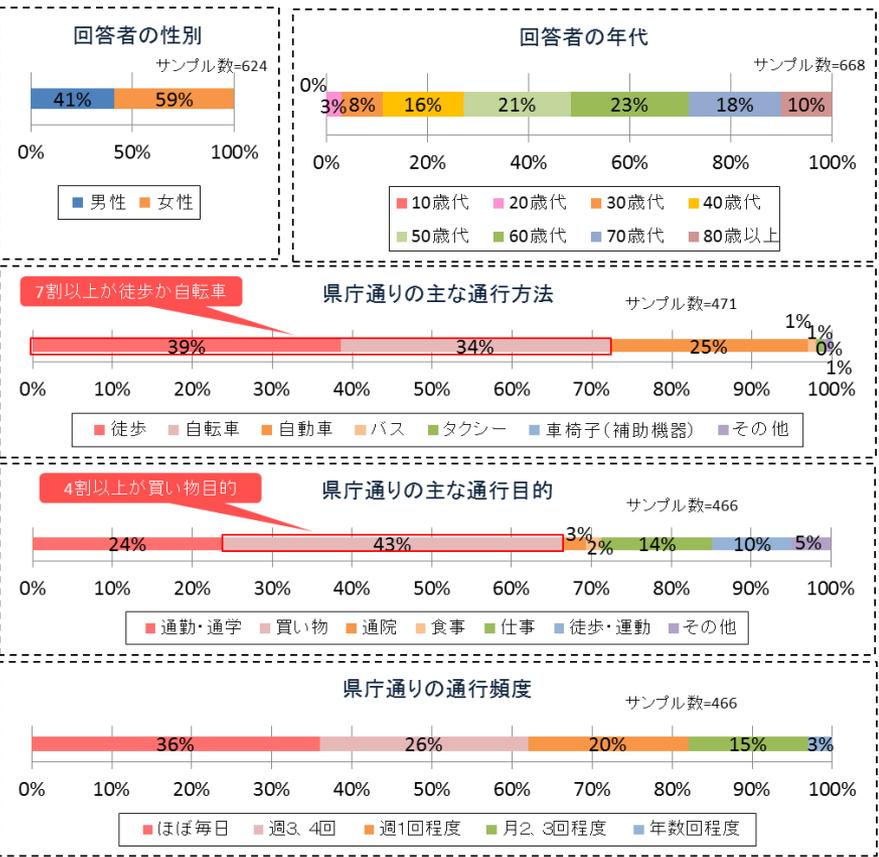
社会実験にあたり、6種類に分類して、アンケート調査を実施いたしました。

	対象者	回収数
1	県庁通りの来街者	324人
2	県庁通りの沿道事業者	56人
3	近隣住民(出石・深砥地区)	683人
4	自転車利用者	275人
5	自動車利用者(一般利用者)	381人
6	自動車利用者(交通事業者)	208人
	合計	1927人

※詳細の調査結果はWEBサイト(下記URL)に公開しております。  
[http://www.city.okayama.jp/toshi/teien/teien\\_t00023.html](http://www.city.okayama.jp/toshi/teien/teien_t00023.html)

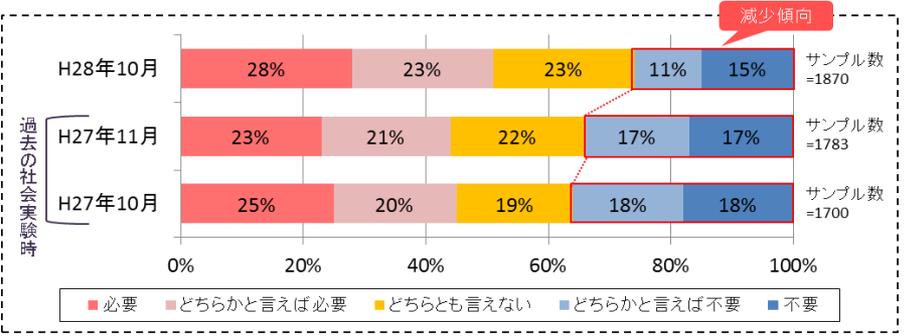
### ▼近隣住民の回答者について(参考)

アンケートの回答結果(近隣住民)は以下のとおりになりました。

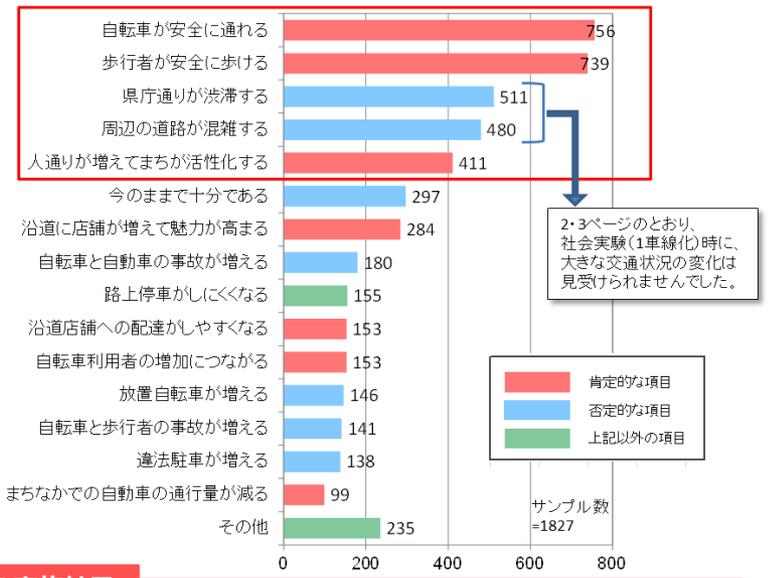


### ▼県庁通りの1車線化の必要性について

今回の社会実験時のように、現在2車線の県庁通りを1車線とし、歩道の拡幅、自転車レーンの整備、荷捌き場の設置をすることが必要かとの問いに対する回答です。(近隣住民の回答のみではなく、6つの対象者すべての回答を合計したものです。)



### ▼県庁通りの車道1車線化整備の必要性の理由



### 社会実験の実施結果

- 1車線化について**不要**と考える方が**減少**しております。
- 1車線化することで、**自転車・歩行者が安全に通行**できるという回答が多いです。
- ➡1車線化に対する**理解が広まって**きていると見受けられます。

## 社会実験を終えて

自動車交通に関して1車線化による

大きな影響は見られなかった。

アンケート調査からも理解が

広がってきていることが分かった。

しかし・・・

## 「車道を1車線にする」ことが目的のように扱われる

渋滞が起きるだけじゃないの？

なんで1車線にするの？

1車線にして賑わうイメージが湧かない…



事業本来の目的の理解を深める必要性！

ハード整備（1車線化）だけではなく、  
利活用の検討にさらに力をいれる！

平成29年度

**まずは、事業者・住民・行政、  
一緒になって勉強。**

**そして意見交換。**

**コミュニケーションをとる。**

**足並みを揃える。**

平成29年度

## まちづくり連続フォーラムの実施

平成29年7月22日 県庁通りまちづくりセミナーVol.1

参加者:110名

(近隣住民、沿道・周辺事業者、交通事業者、NPO、行政等)

講師:西村 浩氏

『公共空間の使い方が変わればひょっとしたら街は変わるんじゃないかと思っている今日この頃のお話』



平成29年11月7日 県庁通りまちづくり勉強会

参加者:12名(近隣住民、沿道事業者、NPO、行政等)

内容:事業説明や他都市の事例紹介、意見交換等

平成29年11月20日 県庁通りまちづくりワークショップVol.1

参加者:14名

(近隣住民、沿道事業者、交通事業者、NPO、行政等)

内容:『まちの未来予想図を描く』

参加者の自由な発想で、県庁通りの未来を描いてもらい、意見交換。目指すべき将来像を検討。



平成30年1月30日 県庁通りまちづくりワークショップVol.2

参加者:23名

(近隣住民、沿道事業者、交通事業者、NPO、学生、行政等)

内容:『沿道空間活用アイデアを考える』

1車線化して拡がる歩道空間や、店先の空きスペース、街中の低未利用地等の活用方法について意見交換。



平成30年2月17日 県庁通りまちづくりセミナーVol.2

参加者:40名

(近隣住民、沿道・周辺事業者、交通事業者、NPO、行政等)

講師:明石 卓巳氏

『共感と信頼、価値を生み出すーストックデザインとブランディングー』



平成30年度

**具体的なビジョンを描き、  
共有する。**

**さらなるプレイヤーの発掘。  
まちづくりに巻き込む。**

平成30年度

県庁通りデザインミーティングの実施



## 県庁通りの魅力とポテンシャルを再発見し近未来のビジョン構築を目的に開催

### マーケット

沿道駐車場を活用してマーケットを開催。  
実験的な空間活用を実施し、効果の検証を行う。  
また、目に見える形で実施することで沿道事業者や市民の興味関心を高め、プレーヤーの発掘と県庁通りで目指すべき近未来の姿を意識づける。

### 公開会議

まちづくりの専門家と沿道事業者等が車座になり県庁通りの未来について語り合う。  
オープン会議とすることで、観覧者の関心を高めるとともに新たなプレーヤーの発掘につなげる。

### 講演会

まちづくりの実践者を招いて講演会を開催。  
他都市での事例やまちづくり手法を学び、沿道事業者や市民が知識と情報を得る場とする。

平成30年度

県庁通りデザインミーティングの実施

# 公開会議

まちづくりの専門家と沿道事業者等が車座になり県庁通りの未来について語り合う。

オープン会議とすることで、閲覧者の関心を高めるとともに新たなプレイヤーの発掘につなげる。



平成30年度

▶ 県庁通りデザインミーティングの実施

# 講演会

まちづくりの実践者を招いての講演会を開催。  
他都市での事例やまちづくり手法を学び、沿道事業者や市民が  
知識と情報を得る場とする。



平成30年度

▶ 県庁通りデザインミーティングの実施

# マーケット

沿道駐車を活用してマーケットを開催。  
実験的な空間活用を実施し、効果の検証を行う。

また、目に見える形で実施することで沿道事業者や市民の興味関心を高め、プレーヤーの発掘と県庁通りで目指すべき近未来の姿を意識づける。



平成30年度

県庁通りデザインミーティングの実施

デザインミーティングで得られた意見や共有したイメージをハードへ反映

## 県庁通りのイメージ＝情報の発信地

常に新しい情報が集まり発信され、新しいコンテンツが生まれてきた。岡山の未来を予感させる中心市街地の背骨のような通り。

『アーバン』なイメージ

→シンプルで洗練されたデザインを採用。

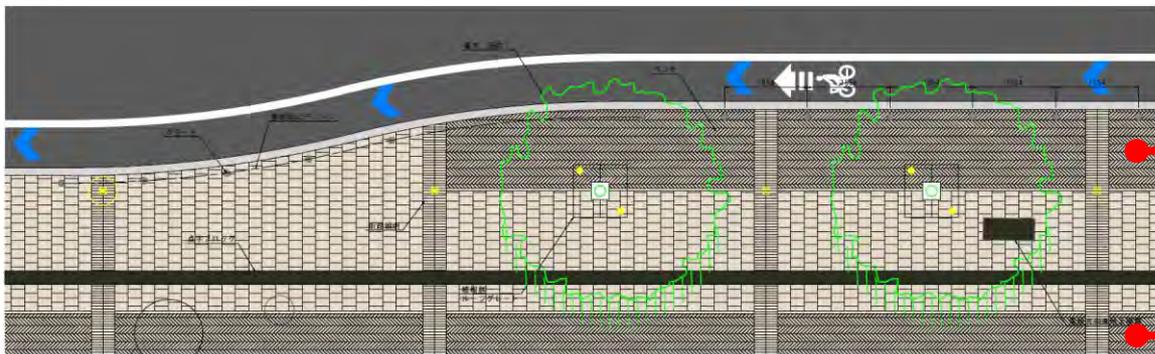
通りではなく、人や沿道が主役になれる通り。

## 歩道を活用し“日常的な”賑わい創出

歩いて楽しいまちの実現をめざしイベントではなく“日常的な”賑わいを創出する。そのために公共空間(歩道)を活用する。

将来の歩道空間の活用を視野に、活用できる空間を明確にする。

再整備後に歩道の活用を想定している箇所は、あらかじめインターロッキングの張り方を変えている。





平成30年度

▶ 県庁通りデザインミーティングの実施

自分たちのまちを

自分たちで考える

令和元年度

**主体的にまちづくりに関わる。**

**描いたビジョンを実現させるために  
社会実験の実施。**

令和元年度

## 1M KENCHO-DORI PROJECTの実施

令和元年9月28日(土)～10月2日(日)

期間限定で、県庁通り沿道事業者との協力のもと、実験的に歩道の民地寄り1M(メートル)を活用する。

- 各店舗が歩道に1Mせりだして営業する。(オープンカフェや商品の陳列等)
- 将来の“日常”を目指しているので“イベント”にせず、日常的に可能なことを意識して実施。

歩道活用の効果検証

歩道を活用する上での課題抽出

プレイヤーの発掘・育成

1M

KENCHO-DORI PROJECT

DEMONSTRATION EXPERIMENT

OKAYAMA

みたてを変えれば まちが楽しくなる

2019.9.28<sup>SAT</sup> - 10.02<sup>SUN</sup>

令和元年度



1M KENCHO-DORI PROJECTの実施



1M

KENCHO-DORI PROJECT

DEMONSTRATION EXPERIMENT

OKAYAMA

令和元年度

▶ 1M KENCHO-DORI PROJECTの実施



令和元年度

▶ 1M KENCHO-DORI PROJECTの実施



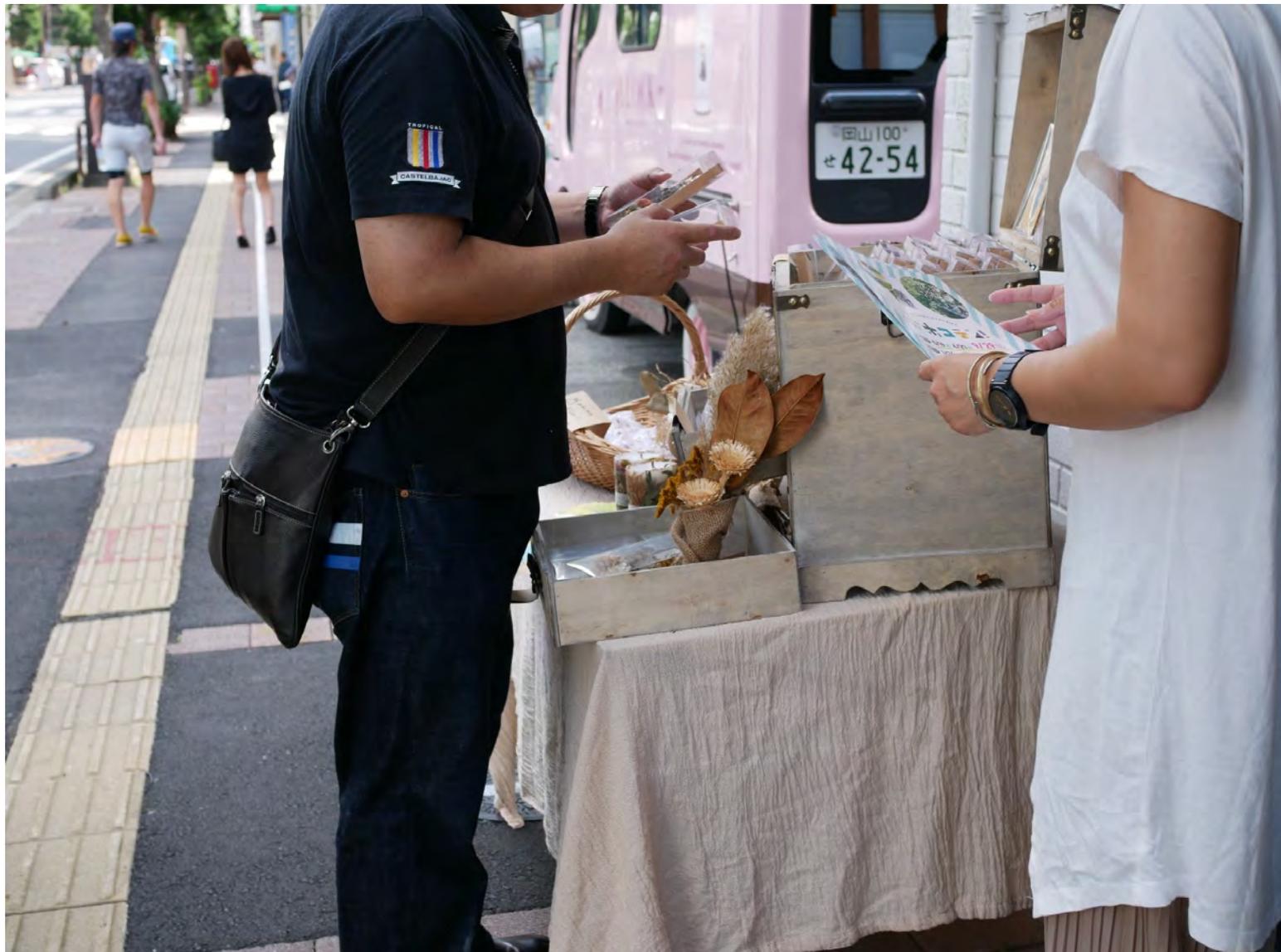
令和元年度

1M KENCHO-DORI PROJECTの実施



令和元年度

1M KENCHO-DORI PROJECTの実施



令和元年度

▶ 1M KENCHO-DORI PROJECTの実施



令和元年度



1M KENCHO-DORI PROJECTの実施



### 道路空間の再構築(ハード施策)

令和元年度後半から工事着手 → 令和3年度末完成予定

### 官民連携による県庁通りの魅力づくり(ソフト施策)

歩道の活用 ▶ 都市再生特別措置法の道路占用許可の特例



- 1M PROJECTで抽出した課題を基に活用ルールを検討
- 活用主体となる沿道組織の設立
- 沿道組織の持続的な運営方法の検討

県庁通り界隈の低未利用地の活用検討

空き家、コインパーキング等

県庁通りを中心としたエリア(面)のまちづくり